

| H003 | | 京都で学ぶ人文学（「ちゃんとした大人」って何？） | |
|--|--|--------------------------|---------|
| 英名科目名 | Introduction to Humanities | | |
| 大学名 | 京都大学 | | |
| 連絡先 | 文学研究科教務掛 TEL:075-753-2809 FAX:075-753-2719 | | |
| 担当教員 | 京都大学文学研究科 教授 杉村靖彦 京都大学 非常勤講師 仲尾友貴恵 京都大学 非常勤講師 田多井俊喜 京都大学 非常勤講師 梅野宏樹 京都大学 非常勤講師 吉野育志 京都大学高等教育研究開発推進センター特定研究員 鈴木健雄 京都産業大学 非常勤講師 長岡徹郎 | | |
| 開講期間 | 2020年10月6日(火)～2021年01月26日(火) 6講時 18時10分～19時40分(毎週火曜日) 2021年1月26日(火)はフィードバック日です。 詳細は授業中に連絡します | | |
| 開講形態 | 後期・秋学期 | 開講曜日・講時 | 火曜日 6講時 |
| 単位数 | 2 | 履修年次 | 1-4回生 |
| 会場 | キャンパスプラザ京都 | | |
| 授業定員 | 30 | | |
| 単位互換生定員 | | 京カレッジ生定員 | 0 |
| 試験・評価方法 | 平常点60点+レポート40点(ただし、2/3以上の出席がない場合は評価の対象としない) | | |
| 超過時の選考方法 | | | |
| 受講料 | | | |
| 別途負担費用 | | | |
| その他特記事項 | 授業外学習(予習・復習)等 授業業時に、各担当者から、課題が提示されることがあります。その指示にしたがってください。 | | |
| パッケージ科目 | | | |
| 低回生受講推奨科目 | | | |
| 講義概要・到達目標 | | | |
| <p>授業の概要・目的</p> <p>本授業は、京都大学で学んできた新進気鋭の若手研究者が各自の研究内容に即してリレー形式で講義を行うものである。</p> <p>「ちゃんとした大学に入って、ちゃんとした会社に入って、ちゃんと結婚をして。安定した生活を送りつつ子育てと介護もしっかりと行って。ちゃんと退職まで働いて老後を迎え、死を受け入れる」。あなたは周りから、こんな「ちゃんとした大人」になること/であることを求められていると、感じたことはないだろうか。しかし、このような「大人」像は果たして自明なものであるのだろうか。最近の家族のあり方をみても、少子化や未婚化によって従来の「大人」像は大きく揺らぎ、人々の人生設計は多様化している。また、病気や事故などの突然の不幸に見舞われることにより、「大人」として「普通の」生活さえ送れなくなることもあるだろう。普段は考えずに済ましていた死が不意に身近なものとなり、謎めいた実感をもって迫ってくるかもしれない。さらにはAIの登場によって、「大人」に求められる仕事の質もまた大きく変わりつつある。</p> <p>このような現実に目を向ければ、自明に思われた「ちゃんとした大人」像は、この現代社会を生きるための拠り所とするには、あまりにも脆い価値観であることに気がつくであろう。だからこそ、このような不明瞭な「常識」に捉われることなく人生を歩めるよう、自らの思考力で現実を見極めていくことが、私たちに今求められているのである。本授業では以上のような見通しのもと、社会学、歴史学、哲学などの様々な学問分野から「ちゃんとした大人」を解き明かすことによって、改めて日常世界を考え直すことを目指す。</p> <p>さらに、各回の授業では学生による質疑応答やグループディスカッションなどのアクティブ・ラーニングを活用することで、学んだ知識を自らの問題関心と結びつけながら主体的に考察する力も身につける。</p> <p>到達目標</p> <p>・より広い視野と洞察力を持って、現実の諸問題に解決策を模索する思考力を養う。</p> | | | |

・学問的な知識や主体的な学びの方法を身につけると同時に、実際の課題に積極的に取り組む「生きる力」を涵養する。

| 講義スケジュール | |
|----------|----------|
| 教科書 | 授業中に指示する |
| 参考書 | 授業中に紹介する |

- (1)イントロダクション
「ちゃんとした大人」ってなんだろう(杉村靖彦)
アフリカの「身体障害者」の生活に学ぶ(仲尾)
- (2)1.自立した生活ってなんだろう?
- (3)2.「障害者」というカテゴリーの来歴と私たちが生きる社会
「性同一性障害」と日常生活世界(田多井)
- (4)1.「性同一性障害」と性的アイデンティティ
- (5)2.「性同一性障害」と企業社会
自分の死を「ちゃんと」受け容れる/受け容れない(梅野)
- (6)1.私は本当に死ぬの? 自分の死という異様かつ凡庸な事実を考える
- (7)2.不老不死になりたい? 自分の死による生きがいの与奪を考える
人工知能(AI)と人間(吉野)
- (8)1.コンピュータには何ができるか テキスト読解から考える
- (9)2.人が思考するということ 機械との違い
- (10)逃げるか従うか抗うか?ヒトラー政権下ドイツ人の事例とともに考える(鈴木)
- (11)まとめとレポートの書き方(鈴木)
レポート指導と発表(長岡)
- (12)1.レポート指導
- (13)2.レポート発表
- (14)改めて「ちゃんとした大人」ってなんだろう(全員)
- (15)(フィードバック日)